



人口の動き 4月1日現在 人口71,691人(前月比-115人) 男36,486人女35,205人世帯数31,133世帯

# 平成29年度予算がスタート



平成29年度

会計別予算規模

◎一般会計

203億 7000万円

(対前年度比 2.4%増)

一般会計とは、市の基本的な行政を行うための会計です。

◎特別会計

172億 6541万3千円

(対前年度比 1.4%減)

特別会計とは、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理する必要のあるときに設ける会計です。

当市には、次のような会計が設けられています。

◎国民健康保険

114億6678万円

(対前年度比2.0%減)

国民健康保険税や国庫支出金および一般会計からの繰入金がおよび一般財源で、被保険者の疾病、負傷、死亡、出産などに際し、必要な保険給付を行います。

◎後期高齢者医療

5億2110万2千円

(対前年度比3.5%増)

後期高齢者医療保険料や一般会計からの繰入金がおよび一般財源で、75歳(一定の障害のある方は65歳)以上の方の医療費の給付を行う千葉県後期高齢者医療広域連合に対し、収納された保険料などの納付を行います。

◎介護保険

44億5014万4千円

(対前年度比0.7%減)

介護保険料や支払基金交付金、国および県支出金、一般会計からの繰入金がおよび一般財源で、被保険者の要支援、要介護度に応じて、必要な保険給付を行います。

◎下水道事業

8億2738万7千円

(対前年度比1.2%増)

受益者負担金や下水道使用料、国庫支出金、市債、一般会計からの繰入金がおよび一般財源で、公共下水道(汚水・雨水)施設の整備および維持管理を行います。

◎企業(水道事業)会計

13億5255万円

(対前年度比6.4%減)

企業(水道事業)会計とは、企業が企業として経営する事業の会計です。水道料金、県支出金、企業債、一般会計からの出資金や補助金がおよび一般財源で、市民のみなさんに安全で安心な水の供給を行います。

## 一般会計当初予算額の比較

<歳入>				<歳出>			
区分	平成29年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	比較	区分	平成29年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	比較
市税	7,205,574	7,035,002	170,572	議会費	206,921	209,030	△ 2,109
地方譲与税	184,000	165,000	19,000	総務費	1,936,021	1,936,265	△ 244
地方消費税交付金	1,084,000	1,050,000	34,000	民生費	8,786,789	8,608,549	178,240
地方交付税	3,600,000	3,770,000	△ 170,000	衛生費	2,209,733	2,161,396	48,337
分担金および負担金	190,107	192,583	△ 2,476	農林水産業費	257,442	243,145	14,297
使用料および手数料	300,888	298,705	2,183	商工費	123,801	123,245	556
国・県支出金	5,034,240	4,723,799	310,441	土木費	1,651,883	1,080,759	571,124
繰入金 ※1	439,017	533,118	△ 94,101	消防費	1,271,220	1,476,544	△ 205,324
諸収入	581,994	573,938	8,056	教育費	1,885,263	1,899,970	△ 14,707
市債 ※2	1,414,400	1,238,400	176,000	公債費 ※3	1,991,231	2,111,149	△ 119,918
その他	335,780	319,455	16,325	その他	49,696	49,948	△ 252
合計	20,370,000	19,900,000	470,000	合計	20,370,000	19,900,000	470,000

※1 繰入金とは、年度間の財源の均衡を図るために積み立てておいた基金から繰り入れるお金をいいます。  
 ※2 市債とは、建設事業などを行うための財源とするために国や銀行などから借り入れるお金をいいます。  
 ※3 公債費とは、借り入れた市債の元金と利子を返済するお金をいいます。

平成29年度の主な事業は2ページで紹介しています。

記号の見方 時日時 場会場

内容 対象 定員 費参加費

甲 申し込み 締め切り

持ち物 問い合わせ

FAX 444-0815